

口腔維持系診療科

# 歯科顎口腔外科

TEL 022-717-8352(外来)



科長  
山内 健介 特命教授



診療科WEB



外来担当医表



## 地域の先生方へ

智歯抜歯から腫瘍に至るまで、顎口腔領域の幅広い疾患に対応し、高度先進医療を提供しつつ、治療後の一般歯科治療にスムーズに移行できるように病診連携に努めて参ります。

## 診療内容

歯科顎口腔外科で最も多く紹介されるものは、埋伏智歯であり、外来での局所麻酔下での抜歯をはじめ、歯科治療恐怖症をはじめとする既往疾患によっては、静脈内鎮静併用局所麻酔下、または全身麻酔下で抜歯を行っています。さらに、高齢社会を背景として、既往疾患による多剤服用患者で全身管理が必要な患者さんには、モニター下での抜歯や小手術を行っています。抜歯以外については、主な疾患別に、口腔癌、顎変形症、顎関節・口腔顔面痛、外傷、口唇口蓋裂、顎骨壊死、インプラント・顎再建の診療グループ体制を編成しており、グループ毎に診療プロトコルを作成し、検査、診断、治療、管理をスムーズに行えるようにしています。

顎・口腔領域は、摂食、発音、嚥下、審美といった要素を持つ領域であるため、治療による影響を最小限に抑え、患者さんのQOL回復をはかるために、顎顔面口腔再建治療部、歯科インプラントセンターなどの院内歯科部門の連携はもちろんのこと、がん治療での頭頸部がんセンターへの参加、嚥下治療センター、唇顎口蓋裂センターなどとも連携しています。

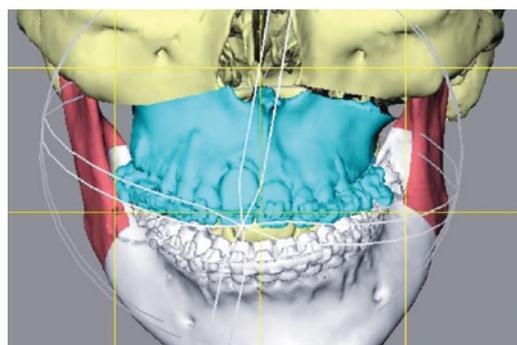
## 得意分野

CT画像をはじめとするデジタル画像を応用した三次元手術シミュレーションを幅広く応用し、治療による様々な障害を最小限にするように努めています。特に顎矯正手術での硬組織シミュレーションでは、術後の顎骨位置を正確に予測することで、顔貌の対称性や骨片干渉の有無を術前予測して対応しています。また、低侵襲手術の目的で内視鏡を応用し、異物迷入、異所性埋伏歯、広範な顎骨腫瘍などでは特に有効と考えています。また、手術等で失われた歯・歯槽骨に対しては、骨移植を併用しつつ広範囲顎骨支持型装置(インプラント)を用いた咬合再建も積極的に行っています。



## 主な対象疾患

- |          |           |
|----------|-----------|
| 腫瘍       | 先天・後天奇形   |
| 顎変形症     | 高度歯槽堤萎縮症  |
| 嚢胞       | 薬剤関連顎骨壊死  |
| 埋伏歯・埋伏智歯 | 口腔顔面痛     |
| 歯性感染症    | ドライマウス    |
| 上顎洞炎     | シェーグレン症候群 |
| 顎骨骨髓炎    | 顎関節強直症    |
| 粘膜疾患     | 習慣性顎関節脱臼  |
| 顎関節症     | 咀嚼筋腱膜過形成症 |
| 外傷・骨折    | 睡眠時無呼吸症候群 |
| 唾液腺疾患    |           |



咬合関係を考慮した顎骨移動の手術シミュレーション